

全肥商連第53回全国研修会 記念講演 『フードチェーン農業in九州』



大泉一貫先生

大泉一貫(おおいずみ かずぬき)先生

1949年宮城県生まれ。東京大学大学院修了。農学博士。成長志向型農業の理論的基盤を作ってきた農業経済学、農政学の第一人者。「農業は成長産業に変えられる」は氏の名言。保護農政から成長産業化農政への転換、「農業経営者を中心とした農政」の構築等、日本の農政への理論的貢献は大きい。農業経営アドバイザー・活躍推進協議会会長。経団連21世紀政策研究所研究主幹。

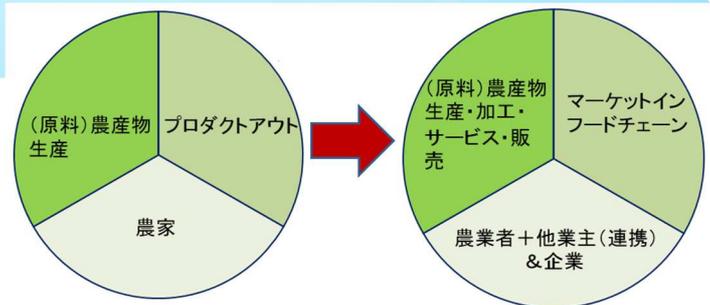
**成長産業化の理論的支柱
大泉一貫先生が、九州・熊本で
農業成長の法則を解き明かします。**

2015年に138万戸あった農家数が2025年には72万戸に、2030年には40万戸に減り、稲作農家にいたっては、10.5万戸という時代が到来します。

政府は現在、農業競争力強化プログラム等の"攻めの農政"を進めていますが、果たして10数年後、どのような農業経営が生き残っているのでしょうか。

競争力強化の為のビジネスモデルは「成熟先進国型農業」だと云われています。そこで展開されているのが『フードチェーン農業』です。

- ★大量離農、農家40万戸時代の到来
- ★攻めの農政に徹しきれるか？
- ★農業成長の法則(1)経営者が全て
(2)農業のビジネスモデル
- ★九州農業の実力と課題
- ★フードチェーン農業の勧め



※大泉一貫先生の講演は、7月6、7日に開催される全肥商連全国研修会のプログラムのひとつです。

主催:全肥商連 後援:農林水産省